令和８年度
門真市中学生議会
記録誌



令和８（2026）年８月 22 日

門　　真　　市

門真市教育委員会

目　　次

はじめに

門真市中学生議会とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
門真市中学生議会議員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

開　　会

市長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
市議会議長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
中学生議会議長、副議長紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
中学生議員の質問と市長の答弁
【１】第二中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
【２】第三中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
【３】門真はすはな中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
【４】第五中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
【５】第七中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
【６】水桜学園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

閉　　会

教育長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

資　　料

議会席列・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
写真集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

はじめに

門真市中学生議会とは

21 世紀を担う子どもたちが、身近な市政や市議会についての仕組み・役割を学ぶとともに、自分たちのまちについての夢や希望を話し合った結果を模擬議会の場で質問する機会を通じ、積極的に社会参画する市民としての意識を培うことを目的として開催しています。

本年度は、市立中学校６校を代表し、26 名の中学生議員が、市政や市議会について学び、門真市をよりよいまちとするため、質問や提案などを考え、それを基に、２回の学習会において、さまざまな問題について意見交換を行った上で、令和８年８月 22 日（土）に、市議会本会議場にて開催された「令和８年度門真市中学生議会　本会議」で 23 名の中学生議員が発表しました。

本誌は、その記録をまとめたものです。

門真市中学生議会の開催にあたり、保護者をはじめ、学校関係者、市議会関係者の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

門真市中学生議会議員名簿

	学　校　名	学　年	氏　名	中学生議会 当日参加 23名
1	第二中学校	3年	金谷　碧音	○
2		3年	渡辺　健心	○
3		3年	髙橋　一輝	○
4		3年	小寺　涼介	○
5	第三中学校	3年	上野　隼慈	○
6		3年	高辻　　咲	○
7		2年	荒木　乃愛	
8		2年	田中　美遥	
9		2年	堀　　大地	
10	第五中学校	3年	（議　長）横田　陽成	○
11		3年	城間　水希	○
12		2年	小野　颯真	○
13		2年	上田　侑奈	○
14	第七中学校	3年	要福地　菜央	○
15		2年	前田　智音	○
16		2年	中島　悠花	○
17	門真はすはな中学校	3年	渡壁　希帆	○
18		3年	立花　心優	○
19		3年	梶原　しおり	○
20		3年	（副議長）小阪　ちなゆ	○
21	水 桜 学 園	9年	千阪　晴夏	○
22		9年	芝　向日葵	○
23		9年	岡本　千佳	○
24		9年	宗像　季香	○
25		9年	越智　菜花	○
26		9年	眞治　佑羽佳	○

開　　会

市長挨拶



皆さんおはようございます。

令和８年度門真市中学生議会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ご参加の 23 名の中学生議員の皆さんをはじめ、傍聴にお越しの保護者並びに教職員の皆様におかれましては、平素より行政各般にわたり、ご理解ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

本日は、中学生議員の皆さんから、日頃感じていることや、門真市の未来に対する思いや考えを直接お聞きできることを大変楽しみにしております。

こちらの門真市役所は、元々、第六中学校の校舎で、今いるこの部屋は、「議場」といい、第六中学校の給食棟でした。ちなみに私は、この第六中学校の出身で、そこの廊下にてスリッパで卓球していたのを覚えています。

「議場」では、市民の皆様が、安全で安心して暮らせるまちにするため、市民の代表である市議会議員の皆様と、市政に関わる様々な課題について議論し、大切なことを決める場であります。本日の中学生議会でも有意義なご質問やご提案がなされることを期待しております。中学生議会の提案の中で、ふるさと門真まつりの復活につながったということもあります。ぜひ、いろんな提案を出していただければと思います。

さて、本市では今年度、３つの施設が新たにオープンしました。

１つ目は、４月に開校した本市初の義務教育学校「水桜学園」です。

この学校は、脇田小学校、砂子小学校、第四中学校を統合し、小学校から中学校までの９年間を一つのつながりとして捉え、子どもたちが互いに学び合い、成長し、将来の自立に向けて、一人一人の可能性を最大限に伸ばしていくことを目指しております。本日も、水桜学園から９年生が中学生議員としてご参加いただいておりますが、校舎の使い勝手はいかがでしょうか。充実した学習や学校生活を送られていますでしょうか。

２つ目は、５月に古川橋駅北側に開館した「文化創造図書館 KADOMADO」です。

この施設は、図書館を中心に、文化や学び、交流を通じて新たな人のつながりや、まちの賑わいを生み出す拠点として整備いたしました。

KADOMADO で、皆さんの将来を方向づけるような「本」や「人」との出会いがあることを期待しております。

３つ目は、８月に移転オープンした「かどま歴史ミュージアム」です。

この施設は、「来て・見て・触れる」をコンセプトに、楽しみながら門真の歴史や文化を学び、地域に残る貴重な文化財を次世代へ伝えていく施設です。

建物は長年、市民交流会館「中塚荘」として地域の皆様に親しまれ、門真市の初代市長を務められ、本市２人目の名誉市民である中塚種夫氏にゆかりがある場所に建てられております。

こうした先人たちが築いてきた門真の歴史や文化を大切に受け継ぎながら、時代に合わせて新しいものを取り入れ、よりよいまちへとつないでいくことが、私たちの大切な役割であります。そして、これから 10 年、20 年先の門真市をつくっていく上で、皆さんのような若い世代の視点や発想がとても大切になってきます。

本日、皆さんは、事前学習会を通して、市役所の仕事や市議会の仕組み、役割などについて学習してこられ、中学生議会議員として、門真をよりよいまちにするため考えられたことをご質問いただけると聞いております。

私も皆さんからのご質問にしっかりとご答弁するとともに、皆さんからいただいたご意見やご提案をこれからのまちづくりに生かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本日の経験が皆さんの将来の糧となること、並びにご参集の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げまして、私からの開会のご挨拶といたします。

市議会議長挨拶



皆さんおはようございます。市議会議長の後藤太平でございます。

門真市議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

中学生議員の皆さん、また傍聴席には保護者の皆様をはじめ、学校関係者の方々など多数のご参加をいただき、令和８年度門真市中学生議会が厳粛に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

さて、中学生議員の皆さん、今、皆さんがおられる議場という場所は、普段は私たち市議会議員が市民の方々の代表として、質問や意見を述べる場所です。本日は、皆さんが普段から門真市に対して関心を持っていることや疑問に感じていることなどを、気負わずに堂々とご発言していただきたいと思います。

これまでの事前学習に取り組まれてきたお姿は大変頼もしく、本日の積極的なご参加は、皆さんにとって、大変貴重なもので、今後、様々な場でのご活躍につながることだと感じております。

先ほど市長からもありましたとおり、この中学生議会で門真まつりをやってほしいという声があって、門真まつりの再開になったというお話もありました。

また、議会で 10 数年以上前から門真の図書館を何とか建て替えようということで、

やっとKADOMADOが完成いたしました。小中一貫校も10数年前からです。
　ちなみに私は第四中学校出身で、現在その第四中学校は解体されており、非常に寂しい思いであります。私の出身の南小学校も、すでにその校舎はありません。校舎がなくなることは寂しさもありますが、それによって新しく生まれ変わる面もあります。
　門真市の小・中学校の多くは、私たちが小学生・中学生の頃から使われてきた校舎が残っておりますので、校舎の建て替えや統廃合については、今、後ろに並ばれております議会の議員の皆さんと議論しているところであります。
　中学生議員の皆さんが、市議会の仕組みや市役所の役割について学ぶことで、よりよい暮らしは自分たちでつくっていくという思いを一層強く持っていただくことを願ってやみませんし、同時に大きな期待を寄せているところでもあります。
　今後におきましては、中学生議員の皆さんがますます元気で健やかに成長されますよう、お祈りいたしますとともに、ご出席の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、開会に当たっての私からのご挨拶とさせていただきます。
　本日は、大いに議論していただくようよろしくお願いいたします。

中学生議会議長、副議長紹介

司会

　「門真市中学生議会」の議長、副議長をご紹介いたします。
　なお、議長、副議長につきましては、学習会の際に立候補いただき決定しております。
　議長を門真市立第五中学校　横田　陽成　議員、副議長を門真市立門真はすはな中学校　小阪　ちなゆ　議員にお願いいたします。
　なお、本日の議事進行は、前半を横田議長に、後半を小阪副議長にお願いしたく存じます。
　それでは、よろしくお願いいたします。

横田　議長



ただいまから、「令和８年度門真市中学生議会」を開会いたします。

私は、門真市中学生議会議長の門真市立第五中学校３年の　横田　陽成　です。

中学生議会の円滑な議事進行に、皆さんのご協力をお願いいたします。

私たち中学生議員 23 名は、今回、市をよくするため、学校別に学習し、疑問に思うこと、提案したいことなどをまとめてまいりました。

「住み続けたいまち・門真」にするためには、どのようにすればよいのか、一生懸命考えてまいりましたので、お聞きいただきますようお願いいたします。

それでは、これより中学生議員による質問を行います。

初めに、第二中学校の皆さんを指名いたします。

第二中学校　【質問】



～質問テーマ～

１　時代に合った学習方法について

２　ごみゼロ計画～ごみがない美しい門真～について

門真市立第二中学校です。

私は、３年の　金谷　碧音　です。
３年の　渡辺　健心　です。
３年の　髙橋　一輝　です。
３年の　小寺　涼介　です。

よろしくお願いします。

1　時代に合った学習方法について

まず、門真市の学力向上に向けてパソコンを活用し、生徒一人一人が、より意欲的

に学べる学習方法について質問します。
　昨年度の中学３年生のチャレンジテストの平均点を見てみると、すべての教科で大阪府の平均を下回る結果となっていました。このことから、門真市の学力は大阪府全体と比べて低い状況にあると考えられます。
　では、なぜこのような結果になっているのでしょうか。現在二中では、一部の人がパソコンを授業の目的に合った使い方ができていない現状があります。その背景には、「授業が楽しくない」「内容が分からない」といった理由があると考えられます。内容が分からないため授業が楽しくなくなり、パソコンで授業とは関係のないことをしてしまう。そして、さらに授業についていけなくなり、学習から離れてしまうという悪循環が生まれています。
　一方で、私たちが２年生のときには、ロイロノートなどを使って調べたことをまとめて発表したり、授業支援アプリを活用したクイズ形式で復習したりするなど、楽しく学べる授業が多くありました。実際、毎時間クイズ形式で復習を行っていた社会では、定期テストの平均点が大きく向上する結果となりました。
　このように、パソコンを学習に効果的に活用することで、生徒の学習意欲を高め、学力向上につなげることができます。私たちは、パソコンをより効果的に活用した授業を増やすことが、門真市全体の学力向上につながると考えます。
　そこで、パソコンをより効果的に活用した授業や学習環境づくりについて、どのような取組が必要だとお考えでしょうか。また、市として学校をどのように支援していくことができるでしょうか。ぜひ、ご意見をお聞かせください。

2　ごみゼロ計画～ごみがない美しい門真～について

　次に、ごみゼロ計画～ごみがない美しい門真～について質問します。
　私たちは、門真市で 14 年間暮らしてきましたが、駅周辺や国道 163 号などは比較的きれいである一方、狭い道路や路地ではポイ捨てが目立ち、まち全体の印象を損ねていると感じています。
　そこで私たちは、門真市が毎年実施している「キラッと！かどま」という清掃活動に注目しました。この活動は、地域を美しくするだけでなく、市民同士のつながりや地域への愛着を深めるすばらしい取組だと思います。
　しかし、二中ではこれまで参加する機会がなく、活動自体を知らない生徒も多くいました。このままでは、清掃活動が一部の人だけの取組となり、将来へ受け継がれにくくなるのではないかと考えています。
　現在、二中では「〇〇クリーン DAY」による校内外の美化活動や、「ひかりプロジェクト」として奉仕活動への参加を表彰する取組を行っています。私たちは、これらの活動の一環として、市が運営する「キラッと！かどま」に参加しようと考えています。これにより、多くの生徒が地域貢献に参加しやすくなり、学校と地域の結びつき

も一層深まると考えています。この取組が広がれば、ごみの減少だけでなく、地域への愛着や市民同士の交流も深まり、よりよいまちづくりにつながるはずです。
　そこで、市内のポイ捨てなどのごみ問題について、市はどのように取り組んでいるのか、また「キラッと！かどま」を運営する中で感じている課題や苦労などについて、お聞かせいただきたいです。
　門真市立第二中学校からは、以上です。

横田　議長

　これより、理事者の答弁を求めます。

第二中学校の質問について【答弁】

宮本市長



　門真市立第二中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

　まず、パソコンをより効果的に活用した授業や学習環境づくりについてであります。
　議員ご指摘のとおり、大阪府チャレンジテストの結果から、本市においては、基礎的・基本的な知識及び技能の定着をはじめ、思考力・判断力・表現力等を含めた学力の向上が大きな課題であると認識しております。
　また、これからの社会では、知識を身につけるだけでなく、自ら課題を見つけ、考え、判断し、他者と協働しながら解決していく力など、子どもたちの資質・能力を育むことが、これまで以上に重要であると考えております。
　そのため、本市では、子どもたちの「主体的に学びに向かう力」や「課題を発見し、解決する力」を育むことを目指し、「子ども主体の学び」と「探究的な学び」を授業改善の柱として、日々取り組んでおります。
　パソコンの使用については、単に使うことが目的ではなく、学びを支えるためのツールとして活用することが重要であります。インターネットから必要な情報を調べたり、自分の考えをまとめて他者に発表したり、リアルタイムに更新される友だちの考えを参照したりするなど、パソコンのよさを生かした授業を進めることで、一人ひとりの学びをより支えることができると考えております。
　さらに、これまでの教員が分かりやすく教える授業のよさに加え、パソコンを効果的に活用した授業を取り入れていくことで、学ぶことが苦手な子どもや学習から離れ

てしまう子どもも含め、すべての子どもたちが楽しく主体的に学び、学力を育む授業づくりが必要であると考えております。
　次に、市として学校をどのように支援できるかについてであります。
　これまでも教員の授業力向上に向けて、教育委員会職員が直接、学校に伺い、授業づくりや校内研修の支援を行ってまいりました。
　今後も学校への支援を継続するとともに、パソコンを効果的に活用した授業実践を教員研修等で市内へ広げながら、ＩＣＴのよさを生かした授業改善を進めることで、子どもたち一人一人の学力向上に取り組んでまいります。

　次に、ごみゼロ計画～ごみがない美しい門真～についてであります。
　まず、ポイ捨てなどのごみ問題に対する本市の取組についてでありますが、本市では、市域における美しいまちづくりを推進するため、「門真市美しいまちづくり条例」を制定し、道路や公園等の公共の場所及び他人が所有する場所などにおいて、吸い殻や空き缶などをポイ捨てしてはならないと定めております。
　また、たばこを吸う方のマナーやモラル向上を図るため、「門真市路上喫煙の防止に関する条例」に基づき、人通りの多い鉄道駅周辺を「路上喫煙禁止区域」として指定し、たばこの吸い殻のポイ捨てを未然に防止するなどの対策を行っております。
　さらに、市、市民、事業者、関係行政機関で「門真市美しいまちづくり推進協議会」を組織し、多くの方々の参画と協働による、市域を美しくするための取組を推進しております。
　その取組の一環である、「キラッと！かどま」につきましては、例年９月１日から 30 日までを清掃月間として、市域における清掃活動をボランティアにて実施していただくとともに、今年は 11 月７日に市内統一清掃として、門真市立リサイクルプラザ周辺地域での清掃活動を予定しております。
　次に、「キラッと！かどま」を運営する中での課題や苦労としましては、特に清掃月間における自治会などの参加者が減少傾向にあることから、市民や事業者の皆様の環境問題に対する関心を高めることや、新たな担い手の育成が課題であると認識しております。
　また、平均気温が年々高くなるなど、暑さが厳しさを増しており、清掃活動中の熱中症や体調不良が懸念されることから、休憩時間の確保や小まめな水分補給に配慮するほか、少しでも多くの方に清掃活動へ参加していただくための工夫として、清掃活動を実施する団体に、清掃用具等の貸与も行っております。
　ごみの清掃活動は、単純にごみを拾うだけでなく、ポイ捨てさせないための意識醸成や地域への愛着、市民同士の交流も深まるなど、よりよいまちづくりにもつながる大切な取組です。
　本市としても「ごみのない美しい門真」を目指して、引き続き取り組んでまいりますが、将来にわたって清掃活動を受け継いでいくためには、中学生の皆さんを含めた若い方の協力が不可欠であります。

ぜひ、清掃活動に奮ってご参加くださいますようお願い申し上げまして、私からのご答弁とさせていただきます。

横田　議長

以上を持ちまして、第二中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第三中学校の皆さんを指名いたします。

第三中学校　【質問】

～質問テーマ～

１　安全なまちについて
２　公園について



門真市立第三中学校です。

私は、３年の　上野　隼慈　です。
　　３年の　高辻　　咲　です。

よろしくお願いします。

1　安全なまちについて

安全なまちについてのうち、まず市の街灯について質問します。

門真市には、灯りが少ない地域、場所によっては真っ暗なところがあります。

部活動や習い事などで帰りが遅くなったとき、特に冬場などは周囲が暗くなり、不安を感じながら帰宅する人がいます。暗い場所では、人目につかないので防犯面でも危険があります。実際に暗い地域で不審者の被害に遭い、怖い思いをした友人もいます。

そこで、質問です。市では、街灯が少ない地域をどのように把握し、街灯が少ない地域に街灯を増設する際には、どのような方法をとっているのでしょうか。

そこで、私たちから街灯を設置してほしいと自治会や市に要望し、自治会活動に協力し、街灯の維持管理をしていきたいと考えます。その上で、地域の人々から市に街灯が少ない暗い場所があると意見があったときに、市からも自治会に街灯を増設していただくように働きかけてもらうことを提案します。

まちが明るくなることで市民の皆さんが安心して夜道を通ることができ、防犯面の

向上につながると考えられます。また、防犯面が向上すれば市民の皆さんが、より安心して暮らせるまちづくりにつながるとともに、安心・安全なまちとして門真市のイメージ向上につながると考えます。

ぜひ、ご検討をお願いします。

次に、市内の信号機の設置について質問します。

私たちが毎日利用している通学路には、信号機のない横断歩道があります。以前、その横断歩道で私の友だちがはねられる事故があり、とても危険な場所だと感じました。また、信号機がないため、車が歩行者に気づいていても止まらず、そのまま通過してしまうことも少なくありません。

市では、まちのみんなが安全に通れる道にするためにどのような対策をとっているのでしょうか。

この道は、多くの児童・生徒が毎日登下校で利用しており、地域の方もよく通るため交通量が多く、事故の危険性が高い場所です。事故が起きてから対策するのではなく、事故を未然に防ぐことが大切だと考えます。

そこで、市の子どもたちが安全に過ごすため、手紙やポスターを配布することを提案します。

具体的には、手紙は子どもたちに学校で配布して、ポスターは大人に伝えるために電柱などの目立つ場所に貼り、市民の方々に注意してもらうよう呼び掛けていただきたいです。私たちも、学校で生徒の皆さんに呼びかけようと考えています。

これらの提案について、どうお考えかをお聞かせください。

2 公園について

次に、公園について質問します。

現在、私たちは子どもの放課後の過ごし方や地域の公園環境に多くの課題があると考えています。

近年、公園でスマートフォンを操作する子どもの姿が多く見られるようになりました。屋外で体を動かす機会が減る中、子どもたちのボール遊びは空間認識能力を高めるなど重要な役割を果たします。

しかし、地域の現状を見ると、そのようなボール遊びができる場は、少し不足しています。例えば地域内にある速見町公園は敷地が広いにもかかわらず、雑草が年々増えており、幼児をはじめとした子どもたちが走り回れる環境ではありません。一部にボール遊びが可能な公園などもありますが、遠くにあったり、予約制であったり、子どもたちが気軽に遊ぶことが難しいのが実態です。

そこで、子どもの健全な成長と住民の安心を両立させるため、速見町公園の敷地をネットで２つのエリアに分けることを提案します。

具体的には、学校側の場所に子どもたちが気軽にサッカーやキャッチボールを楽し

める「ボール遊びエリア」を配置します。学校側であれば、万が一の際も道路や家へのボール飛び出しを防げるからです。一方の道路側には、遊具などを設置した「小さい子ども向けのエリア」を整備します。あわせて、大きめの看板で新しいルールを明示することを提案します。

日中は、気軽に遊べる反面、周囲に危険が及ぶ激しい球技や音楽再生、演奏は禁止とします。また、具体的な例としては、夜７時から９時までは、近隣への騒音に配慮し、ラジオ体操やウォーキング程度の静かな利用に限定します。

敷地を有効活用し、地域の安心と子どもの笑顔を守るこれらの提案について、市としてどうお考えか、教えてください。

門真市立第三中学校からは、以上です。

横田　議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第三中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第三中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

安全なまちについてのうち、まず、街灯についてであります。

住宅街などの街灯、いわゆる防犯灯は、市内の街路を明るくし犯罪の防止に寄与することを目的として設置するもので、主に自治会等の地域団体が防犯灯の設置や増設、維持管理等を行っており、市は設置費や電気料金等の一部を補助することで、地域と連携しながら安全・安心なまちづくりを進めております。

議員ご提案の市民から防犯灯が少なく、暗い場所があるとの意見があった際の市からの働きかけにつきましては、これまでもその都度行ってきたところであり、今後も該当地域の自治会等へ情報共有し、丁寧に働きかけてまいります。

また、地域の安全を守るためには、市だけでなく、地域の皆様に防犯灯の維持管理をはじめ、防犯活動にご協力いただくことが大変重要でありますことから、ぜひ中学生の皆さんにも防犯活動にご協力いただきたいと考えており、市といたしましても引き続き、地域の皆様と連携し、誰もが安心して暮らせる安全なまちづくりを進めてまいります。

次に、市が実施している交通安全対策についてであります。

自治会や学校と連携し、地域や通学路の点検を行うことにより、危険な場所を把握し、必要に応じて「学童注意」などの路面標示を設置する等の安全対策を実施しております。

また、新たな信号の設置要望につきましては、警察署が所管するところでありますが、交通事故の発生状況や交通量、道路幅員、信号柱を建てるスペース、歩行者の滞留する場所などを考慮のうえ、設置の可否の判断をしていると伺っております。

議員ご提案の中学生の皆さんが率先して、小学生や中学生を対象に注意喚起の手紙を配布することやポスターを作成することにつきましては、安全対策の一つとして非常に効果的と考えておりますので、ぜひ取り組んでいただきたいと考えております。

市としましては、これまで自治会等からの要望により、注意喚起の看板を設置した事例もありますことから、状況等を確認の上、ポスターの掲示について検討してまいります。

今後におきましても、自治会や関係機関等との連携により、安全なまちづくりに努めてまいります。

次に、公園についてであります。

まず、公園のボール遊びにつきましては、市内の公園では、利用者の皆様の安全・安心の観点から一部の公園を除いて自由にボールを使用しての遊びを禁止しておりますが、昨今ボール遊びができる公園の設置要望が多く寄せられており、課題となっております。

速見町公園における提案については、周辺地域への配慮と、他の利用者への安全を考慮した整備内容でありますが、速見町公園は住宅と隣接している箇所もあるため、隣接の住民の皆様のボール遊びに対するご理解をいただくことも重要となります。

また、ボール遊びに関するルールや、公園利用の新しいルールなどを定め、大きめの看板で明示することは、様々な立場の人がお互いに譲り合いながら気持ちよく公園を利用するための効果的な方法と考えます。

今後の公園リニューアル等の際には、ご提案の整備内容やボール遊びをはじめとする公園利用のルールや明示方法について検討するとともに、安全対策や近隣住民への意見聴取等を実施するなど、様々な方が安心して利用できる公園づくりに努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

横田　議長

以上を持ちまして、第三中学校の質問を終了いたします。

続きまして、門真はすはな中学校の皆さんを指名いたします。

門真はすはな中学校　【質問】

～質問テーマ～

１　部活動の地域展開について
２　登下校時の混雑について



門真市立門真はすはな中学校です。

私は、３年の　渡壁　希帆　です。
３年の　立花　心優　です。
３年の　梶原　しおり　です。
３年の　小阪　ちなゆ　です。

よろしくお願いします。

1　部活動の地域展開について

私たちは、部活動の地域展開について質問します。

私は、陸上部に所属しています。バレーボール部、ソフトテニス部、バスケ部など、現時点で学校でも部活動が成り立っているものがあります。しかし、その中で地域展開を全国で進めている理由を教えていただきたいです。

私たちは、卓球部、吹奏楽部の地域展開に所属させてもらっています。その中で、課題と感じていることが二つあります。

まずは、設備についてです。

地域展開によって、同時に活動する生徒が増えたため、活動するための備品が少なくなっています。そして、地域展開をする前に学校の部活動で使っていた備品が古くなっているため、練習がしにくいと感じています。新しいものを買い足したくても値段が高くて、買うことが難しいです。そのため、設備と備品が整いにくい状況です。設備や備品の充実については、どのようにお考えですか。

次に、私が地域展開の部活動に参加してみて、課題と感じているのは部活動の際の移動についてです。

卓球部では、全部で、３校で活動しているため、自校が練習場所の場合には負担がありませんが、他校の生徒は移動が負担となります。その他にも、吹奏楽部はルミエールホールで活動していますが、ルミエールホールから遠い学校の生徒は移動が大変です。そのため、各校で、学校で決められた顧問の先生がいるときのみ自主練をできるようにしたり、活動場所を日によって変えることはできないのでしょうか。このような課題を改善することによって、これからの部活動の地域展開が、よりよいものに

なればいいなと思っています。
この二つの課題について、どうお考えなのかを教えていただきたいです。

2 登下校時の混雑について

次に、登校時の混雑について質問します。
私は、登校時に古川橋駅から幸福町の商店街を北西に進んだ所にある六叉路を通っています。その際、門真みらい小学校の登校班や学生の通学、通勤などの自転車などが、同じ時間帯にその横断歩道を利用することで混雑することが多いです。最近、小学校の登校時間が 8 時から 8 時半に変更されたことによって、中学生の登校時間とかぶってしまうようになりました。六叉路を通る登校班が多かったり、長かったりするため、中学生が横断歩道を渡れずに信号が変わってしまうという問題が起きています。また、自転車が通る数が多くて渡る際に、事故につながる危険性が大いにあるという問題もあります。
これらの問題により、シルバーさんを増やす取組や、配置を変えたりすることが必要であると考えています。シルバーさんなどの協力により、横断歩道には通れる登校班の数を決めて、通ろうとしている登校班を止めたりして他の人が通れるようにしてもらうことなどは可能でしょうか。
問題を解決することにより、門真市民がより安全に住むことができると思いますので、これらについての考えを教えてください。
門真はすはな中学校からは、以上です。

横田　議長

これより、理事者の答弁を求めます。

門真はすはな中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立門真はすはな中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、部活動の地域展開についてであります。
地域展開を全国で進めている理由についてでありますが、議員ご指摘のとおり、現時点においては、地域展開を行わなくとも、学校部活動として活動できているクラブもございます。

しかしながら、門真市においても全国的な動向と同じように、少子化により生徒数が減少している状況があり、また、それに伴う教職員数の減少も見込まれています。学校の部活動数も年々減少しており、このような状況を踏まえると、今後、活動に必要な生徒数が集まらなかったり、顧問の教員が確保できなくなったりする状況が想定されます。

生徒の皆さんが、将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保・充実するためには、計画的に、地域クラブの仕組みを構築したり、地域の指導者を確保したりする必要があるため、国としても令和 13 年度までを「改革実行期間」と位置づけ、全国的に地域展開に取り組んでおります。

次に、設備や備品の充実についてであります。

本市における地域クラブの活動場所につきましては、学校施設を使用していることが多く、また備品等についても、以前学校部活動として使用していた物を引き続き使用している状況がございます。

今後は、地域クラブとしての環境整備のための予算確保策が重要になってくると考えており、それぞれのご家庭の参加費のご負担以外にも、持続可能な財源確保の在り方について、全国的な先進事例も参考にしながら、設備や備品の充実に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

次に、地域クラブの会場への移動についてであります。

議員お示しの卓球部においては、今年度は、北部エリアの会場を門真はすはな中学校、南部エリアの会場を水桜学園に確保して実施しております。

これは、空調設備が整っている施設であることが理由の一つではありますが、議員ご提案の活動場所を日によって変えることについては、生徒の皆さんの移動負担が均等になり、公平な活動づくりになることも考えられるため、今後、検討してまいります。

また、吹奏楽部につきましては、会場であるルミエールホール以外にも、音楽室で練習可能としている学校もございますし、また、青少年活動センターで練習できることをご案内したりしています。

引き続き、活動場所や移動距離の問題につきましては、状況を丁寧に把握しながら、改善してまいりたいと考えております。

これからの本市における部活動の地域展開が、よりよいスポーツ・文化芸術環境を未来へつなぐ取組となるよう、着実に進めてまいります。

次に、登下校時の混雑についてであります。

小学校の通学路におきましては、シルバー人材センターによる交通専従員やボランティアの皆様によるキッズサポーターを配置することにより、登下校時における安全対策を講じているところであります。

議員ご指摘の、古川橋駅から幸福商店街を北西に進んだ六差路付近につきましては、歩車分離式信号になってはいるものの、登校時間帯には多くの歩行者や自転車が行き

交い、一時的に交通量が多くなっていることは認識しているところであります。
　交通専従員の増員につきましては、決められた予算の中で即座に対応することは難しいものの、配置場所の変更や、誘導の工夫等につきましては、登校の安全を第一に確保しつつ、関係機関と協力し、検討してまいりたいと考えております。
　中学生の皆さんにおかれましても、引き続き地域の先輩として小学生の安全な登下校に譲り合いの気持ちをもってご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私からのご答弁とさせていただきます。

横田　議長

　以上を持ちまして、門真はすはな中学校の質問を終了いたします。



（休　憩）

（再　開）

小阪　副議長

　それでは引き続き、会議を開きます。
　私は、門真市中学生議会副議長の門真はすはな中学校の３年の　小阪　ちなゆ　です。
　議長に代わりまして、議事進行してまいりますので、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。
　それでは、第五中学校の皆さんを指名いたします。



第五中学校　【質問】

～質問テーマ～

１　公共施設利用について
２　地域活動活性化について



門真市立第五中学校です。

私は、３年の　横田　陽成　です。
３年の　城間　水希　です。
２年の　小野　颯真　です。
２年の　上田　侑奈　です。

よろしくお願いします。

1　公共施設利用について

まず、本市の公共施設について質問します。

私たちがこのような質問をするのは、ここ最近の中学生による公共施設の利用が少ないと感じたからです。実際、五中生の中でも、自習のために公共施設を利用したという話は、ほとんど聞いたことがありません。私たちで、なぜ利用が少ないのかを考えてみると、五中の身近な場所に自習室がほとんどない、また自習室に入りづらい、最初の使い方が分からないなどの意見が出ました。

また、自習室の存在自体や公共施設で行っているイベントについても、多くの中学生にあまり知られていませんでした。私たちは普段、市ホームページを開くことはあまりないため、どの公共施設に自習室があるのか、またどのような施設が利用できるのかを知らない中学生も多くいます。

そこで、私たちから提案があります。

市内の公共施設について、施設の特徴や自習室の場所をまとめた案内を学校で配布したり、中学生が参加できる講座や体験教室など、学びにつながるイベントを積極的に周知することで、中学生が公共施設を利用するきっかけを増やしてはどうでしょうか。

このような取組を行うことで、中学生が公共施設をより身近に感じ、自習室などを利用する機会が増えると思います。

まず、自習可能な公共施設についてお聞かせください。

また、中学生をはじめ、より多くの人に公共施設を知ってもらい、利用してもらうための周知方法と公共施設においてどのようなイベントを行っているのか、教えてく

ださい。

2　地域活動活性化について

次に、地域活動活性化として、門真市が開催するイベントを市内外の多くの人に知ってもらうための情報発信の強化について質問します。

門真市は交通の便がよく、最近では文化創造図書館 KADOMADO ができたりと公共施設の整備も行われています。門真市外の人が過ごしやすくなった今だからこそ、私たちは門真市内で行われているイベントをもっと大々的に告知・宣伝し、市外の人たちに興味を持ってもらうとともに、地域の結びつきを強めるべきだと考えました。

そこで私たちは、若年層に向け、インスタグラムや X、YouTube チャンネルなど門真市公式 SNS を用い、イベント開催の告知・宣伝することを提案します。イベントを開催する際は、各 SNS で都度告知するようにし、目に入りやすく、参加しやすいようにします。また、実際のイベントの様子を動画で撮影したり、写真を撮り、SNS にあげることで、イベントの空気感や雰囲気、具体的な活動内容を知ってもらい、参加を促すことも目的の一つです。

そのほかに、学生たちに知ってもらうためにプリントやポスターを作成し、各学校で配布する、貼り出すという方法も効果的だと考えました。SNS をあまり使用しない人にもイベント開催を知ってもらい、より多くの人に足を運んでもらいたいと考えています。

また、SNS での告知は、いくつもある情報の一つとしか認識されず、印象に残りにくいという面があります。そのため、学生にとって過ごす時間が多く、否が応でも目に入る学校での貼り出し、配布という形を取りたいと考えました。

門真市を住みやすいと思ってもらえるようなまちにするには、地域の結びつきが必要不可欠です。今、行われているたくさんのイベントを知ってもらうことが、市のさらなる発展につながると私たちは考えました。

今後、どのような形で情報発信を強化していきますか。

門真市立第五中学校からは、以上です。

小阪　副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第五中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第五中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

公共施設利用についてのうち、まず自習可能な公共施設についてであります。

文化創造図書館 KADOMADO３階には、静かで集中できる自習席を 103 席設けております。また、市南部に位置する門真市民プラザや南部市民センターに自習室を設けるとともに、市立公民館におきましても空き室を自習室として開放し、多くの皆様にご利用いただいております。

これらの自習可能施設につきましては、自習場所を一覧にした「自習室一覧マップ」を市ホームページに掲載し、周知に努めているところでございます。

次に、公共施設の利用を増やすための周知方法と公共施設におけるイベントについてであります。

議員ご提案のとおり、中学生の皆さんをはじめ、公共施設をさらに利用していただくためには、施設の場所や利用方法、そこでどのようなことができるのかを知っていただくための、さらなる周知啓発が必要であると認識しております。

現在、KADOMADO をはじめとした公共施設において、自習室の利用だけでなく、中学生の皆さんにも参加いただける文化やスポーツ、ものづくりの講座や体験教室など、様々なイベントを開催しております。これら講座やイベント等を通じて、新しいことに触れ、学ぶ楽しさを感じてもらうことは、中学生の皆さんにとって、学習意欲の向上にもつながるものと考えております。

今後におきましては、中学生が参加できる、学びにつながるイベント等の情報を直接皆さんに届けることができるよう、市ホームページや広報、公式ＳＮＳによる情報発信に加え、学校とも連携した積極的な周知を行い、さらなる公共施設の利用促進につなげるよう検討してまいります。

次に、地域活動活性化として、門真市で実施するイベントを、市内外の多くの人に知ってもらうための情報発信の強化についてであります。

本市が行っているイベント情報の発信方法といたしましては、市ホームページや広報による発信に加え、市公式インスタグラム、ＬＩＮＥ等のＳＮＳによる発信を行っているところであります。

また、市の魅力をより多くの方に知っていただくために、門真市ブランドブック「かどまねき」を作成し、コンパクトでアクセスのよい立地特性や、市内外の方に楽しんでいただけるみどころを写真やイラストで分かりやすく紹介しております。

さらに、令和８年２月より、本市のシティプロモーションにおけるターゲット層に据える 20 代から 30 代女性に対するアプローチを強化するため、10 名の公募市民

等で構成される「魅力発信チーム」が、市民目線で選んだ本市の魅力を取材及び撮影し、「魅力発信インスタグラム」による投稿を開始し、立ち上げから４か月ほどでフォロワー数が 6300 人を超え、市内外から大きな注目を集めているところであります。

今後につきましては、議員ご提案のとおり、若年層への情報発信は重要であると認識しており、これからの門真市を担う小・中学生の皆さんに広く周知につながるよう、開催イベントによっては教育委員会と協議を行い、市内小・中学校へのポスターの掲出やチラシの配布等を進めるなどにより、情報発信の強化に努め、市のさらなる発展、地域活動の活性化につなげてまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

小阪　副議長

以上を持ちまして、第五中学校の質問を終了いたします。

続きまして、第七中学校の皆さんを指名いたします。

第七中学校　【質問】

～質問テーマ～

１　七中周辺の学習環境について
２　七中周辺の動物保護について



門真市立第七中学校です。

私は、３年の　要福地　菜央　です。
２年の　中島　悠花　です。
２年の　前田　智音　です。

よろしくお願いします。

1　七中周辺の学習環境について

私たちが提案したいことは、七中周辺の学習環境についてです。

なぜかというと、私たちがよく行く門真市民プラザにある自習室では、これまでに何度か、自習室のルールやマナーを守らない人を見かけることがありました。そこで、私たちは自習室の在り方について考えました。

自習室は、家での環境が整っていない人や静かな環境を好む人などが来る場ではな

いかと考え、自習室は静かで集中できる場所であるべきだと考えます。
　そして、私の友人にも聞いたところ、自習室には静かな環境を求める人が多かったです。
　しかし、今の自習室はスマホをいじってアニメを見ている人がいたり、スマホの通知がうるさかったり、友だちと話したりするなど、安心して集中できる自習室が整っていません。
　最近できたKADOMADOのほうへ行けばいいじゃないかと思う人もいるかもしれません。もちろん、KADOMADO の自習室や環境はすばらしく、静かで集中できます。ですが、少し距離があり、人によっては遠いと感じるのです。ＲＡＣＴＡＢドーム周辺には、多くの学生が住んでいます。出発をＲＡＣＴＡＢドームにして自転車で行くと、大人でも片道約 20 分、またはそれ以上かかってしまいます。それが学生にもなると、人によっては 30 分以上かかってしまいます。それに自習室は、小学生も使います。こんなに遠くては、保護者も心配で行くことを許可できないかもしれません。ですが、門真市民プラザは、大人で片道約７分、小学生では約 15 分以内で着くことができます。これを聞いて分かるように、門真市民プラザのほうが圧倒的に近いのです。
　そこで、私たちから提案があります。
　中学生がどこの自習室でも安心して気持ちよく利用できる環境をつくるため、利用マナーを分かりやすく周知することや、各自習室を巡回してもらうなど、勉強に集中できる環境が重要だと思います。
　そこで、市民プラザにおける誰もが安心して利用できる自習室を実現するための利用マナーを守る取組について、市の考えを教えてください。

2　七中周辺の動物保護について

　次に、七中周辺の動物保護についてです。
　なぜこの提案をしたかというと、現在の七中前の道路では、近くにある川から出てきたと思われるカメが車にひかれてしまう場面が度々あるからです。また、このカメは生態の特徴から、用水路や畑の周りにある農業トラック用のなだらかな坂から出てきている可能性があります。
　また、カメは一度道路へ出てしまうと動きが遅いため、安全な場所に移動する前に事故に遭ってしまいます。この出来事により、そこの道路を通る七中生及び市民の方々も心が痛んでしまいます。また、動物たちも安心して暮らすことができません。
　私たちの提案としては、カメが出てこないように、なだらかな坂の手前付近に低い柵を設置することです。
　なぜこの考えをしたかというと、カメが川から出てきてしまうことが今回の問題の原因だからです。さらに私たちはカメだけでなく、人も動物も安心して過ごせるまちづくりを目標にしています。しかし、夜で暗く、見えにくいときに、カメの死骸によ

り自転車が衝突して事故につながることもあります。このような事故は、カメの命が失われるだけでなく、自転車に乗っている人がけがをする原因にもなりますので、早めの対策が必要だと考えられます。坂の付近にカメが越えられない、低めの柵を設置したいです。低めの柵であることで景観を大きく損なうこともありません。必要な場所だけに設置することで、より効果的にカメの道路への進入を防ぐことができるでしょう。

ですが、道路上の設備として厳しく、費用や時間の面でも設置が困難であると考えられます。

人も動物も安心して過ごせるまちづくりのための取組や今後の考えなどについて、教えてください。

門真市立第七中学校からは、以上です。

小阪　副議長

これより、理事者の答弁を求めます。

第七中学校の質問について【答弁】

宮本市長

門真市立第七中学校のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

まず、第七中学校周辺の学習環境についてであります。

誰もが安心して学習に取り組める環境づくりについてであります。

市民プラザの自習室につきましては、２階の生涯学習センター学習室と３階の青少年活動センター学習室の２か所あり、いずれも学生の皆さんをはじめ、多くの市民の皆様に学習や読書などの場として利用いただいております。なお、中学生の皆さんは午後７時までの利用が可能となっております。

議員ご指摘の周りの利用者の迷惑となる行為や、利用者同士の配慮に欠ける行動があることにつきましては、市といたしましても、利用される皆様一人一人がルールとマナーを守り、お互いに気持ちよく利用できることが何より大切であると考えております。

現在、利用時の注意事項につきましては、受付時の案内として、飲食や私語、雑談、スマートフォンでの通話など、周りの利用者に迷惑となる行為はしないよう、掲示を行っておりますが、利用者自ら、受付し、座席を選び利用していただく運用となっていることから、注意喚起が行き届いていないものと考えられます。

自習室は、特に学生の皆さんにとっては、勉強を行う大切な場所です。

利用マナーにつきましては、中学生の皆さんも含め、できるかぎり利用者同士でお

互いに声を掛け合うことや、施設スタッフに気兼ねなく依頼してもらうことも大切であると考えておりますが、市民プラザは多世代が利用する施設であることから、年上の利用者に対して注意や声掛けを行うことは心理的な負担も大きく、難しい場面もあると思われます。

そのため、より分かりやすいマナー啓発の方法や迷惑行為があった場合における対応として、議員ご提案の巡回回数を増やし、必要に応じて声掛けを行うなど、指定管理者とともによりよい運用方法の検討を行い、誰もが安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。

次に、第七中学校周辺の動物保護についてであります。

「動物の愛護及び管理に関する法律」では、基本原則として、「動物が命あるものであることにかんがみ、何人も、動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない。」としており、「ひかれたカメがかわいそうだ」と思われることは、人の自然な気持ちだと思います。

本市としましては、人も動物も安心して過ごせるように、これまでも公共施設やまちなかの緑化など良好な環境づくりを推進するとともに、誰もが安全・安心に道路利用できるよう道路照明灯や横断防止柵の設置等を実施しており、道路での事故防止に取り組んでおります。

議員ご指摘のとおり、カメが道路への進入を防ぐための柵設置につきましては、費用や時間などの課題があるため、設置は困難であると考えております。

また、ペットを最後まで責任をもって飼育せず、野外に放つ人がいることも今回の問題の一因であると考えられることから、本市としましても、人も動物も安心して過ごせるまちづくりに取り組んでいくとともに、ペットの飼育に関する周知・啓発も行ってまいります。

今回、カメの問題を通じて、その対策などを考えていただいたことは、門真市における自然環境や野生生物との関わり方などを考えるきっかけとなったものと思いますので、中学生議員の皆さんも自然との共生について、これからも関心を持っていただきますようお願い申し上げまして、私からのご答弁とさせていただきます。

小阪　副議長

以上を持ちまして、第七中学校の質問を終了いたします。

続きまして、水桜学園の皆さんを指名いたします。

水 桜 学 園　【質問】

～質問テーマ～

1　高齢者を特殊詐欺から守る取組について
2　市民のいろんな人が楽しめる施設をつくりたい！について



門真市立水桜学園です。

私は、９年の　芝　向日葵　です。
９年の　岡本　千佳　です。
９年の　宗像　季香　です。
９年の　眞治　佑羽佳　です。
９年の　越智　菜花　です。
９年の　千阪　晴夏　です。

よろしくお願いします。

1　高齢者を特殊詐欺から守る取組について

私たちは、高齢者を特殊詐欺等から守る取組について提案します。

数年前より高齢者が特殊詐欺や悪質商法等の被害に遭ったというニュースをテレビやインターネットで度々目にすることがあり、私自身も、自分の祖父母が被害に遭わないか、とても心配に感じています。

最近の特殊詐欺等は、電話だけでなく、スマートフォンに届くメールやショートメッセージ、SNS などが悪用されるケースも増加し、便利なスマートフォンですが、使い方や危険性を十分認識していないとだまされてしまいます。

そこで質問ですが、高齢者を狙う特殊詐欺等が増加している中で、門真市では高齢者を特殊詐欺等から守る取組や啓発活動について、これまでどのような事業を実施しているのか、教えてください。

また、高齢者が特殊詐欺等の被害に遭う要因として、スマートフォンの使い方が不慣れなため、ショートメッセージや LINE のリンクを安易に開いてしまうことや、日頃から相談相手がいなく、いたとしても「迷惑をかけたくない」と誰にも相談せずに対応してしまうことなどが挙げられます。

そこで私たちが考えた高齢者を特殊詐欺等から守る取組を一つ提案させていただきます。

私たちが通う水桜学園は、高齢者をはじめとした地域の方々との交流拠点として地域に開かれた学校を目指していることから、同学園内で、高齢者に集まっていただき、そこでスマートフォンの操作が得意な中学生がボランティアとして高齢者に対し優しく基本的な使い方を教えながら、不審な電話への対応方法や、詐欺メール・ショートメッセージの見分け方、怪しいリンクを開かないことの大切さなど高齢者と中学生が一緒に学ぶことができる「デジタル教室」を開催することで、特殊詐欺等から高齢者を守りながら、私たちも SNS トラブルを防ぐことにつながると考えます。

教室の開催について、検討していただけるかをお聞かせください。

2 市民のいろんな人が楽しめる施設をつくりたい！について

次に、市民のいろんな人が楽しめる施設をつくりたい！について提案します。

私たちは、子どもから大人まで、世代を超えて楽しみながら交流できるイベントをもっと増やしてほしいと考えています。

近年、夏は気温がとても高くなり、公園で長時間遊ぶことが難しい日が増えています。熱中症の危険もあり、外で思い切り遊ぶ機会も少なくなっています。

では、室内で遊ぼうと思っても門真市内には家族で一日楽しめる施設が多くありません。そのため、大阪市内などへ出かける家庭も多いと思いますが、そのたびに交通費がかかり、気軽に利用できない家庭もあります。もちろん新しい施設を建設するには、多くの時間や費用が必要です。

そこで私たちは、新しい建物をつくるのではなく、すでにある施設をもっと有効に活用してはどうかと考えました。例えば、市民プラザや総合体育館、KADOMADO、南部市民センター、ルミエールホールなどを活用し、親子で楽しめるイベントや遊びながら学べる体験教室を今まで以上に開催してはどうでしょうか。

科学実験や工作、スポーツ体験、プログラミング、昔遊び、地元企業によるものづくり体験など、子どもだけでなく保護者や高齢者も一緒に参加できる内容であれば家族の思い出づくりにもなり、地域の交流も深まると思います。また、こうしたイベントが増えることで、「休日は門真で過ごそう」と思う人が増え、地域の賑わいづくりにもつながるのではないでしょうか。新しい施設を建設しなくても、今ある施設を工夫して活用することで、多くの市民が笑顔になれると考えています。

そこで、二つ質問します。

一つ目は、歴史資料館は今年リニューアルオープンしたと聞いています。新しい「かどま歴史ミュージアム」では、どのような展示やイベントを考えているのですか、教えてください。

二つ目は、今年開館した文化創造図書館 KADOMADO は、市民の文化・学習活動の拠点として整備された施設だと聞いています。

現在、どのようなイベントや講座が開催されているのでしょうか。また、今後、子どもから大人までが一緒に楽しみ交流できるイベントをさらに増やしていくような考

えはあるのか、お聞かせください。
　門真市立水桜学園からは、以上です。

小阪　副議長

　これより、理事者の答弁を求めます。

水桜学園の質問について【答弁】

宮本市長

　門真市立水桜学園のご質問につきまして、私よりご答弁申し上げます。

　まず、高齢者を特殊詐欺等から守る取組や啓発活動についてであります。
　高齢者を対象とした特殊詐欺等の被害防止は本市におきましても重要な課題と認識しており、特殊詐欺等被害防止機器の貸し出しや、市ホームページにおいてスマートフォン向けの警察庁推奨の特殊詐欺防止アプリの案内、令和７年に「大阪府安全なまちづくり条例」の一部が改正され、高齢者が携帯電話で通話しながらＡＴＭを操作することの禁止などが規定されたことから、その内容についての周知及び、様々な詐欺事例についての注意喚起をしております。
　令和４年度より、事業連携協定を締結している千成ヤクルト販売株式会社と共催でスマートフォンの操作方法講座を実施しておりますが、６年度につきましては、ソフトバンク株式会社と共催で「消費生活講座～スマホ安全教室～」として、スマートフォン体験やＳＮＳ、メールなどの利用時に気をつけるポイント、詐欺等の被害事例などを紹介しております。
　加えて年金支給日には、門真警察署と連携しながら街頭啓発を行っております。また、先に触れましたように中学生の皆さんも携帯電話で通話しながらＡＴＭを操作されている高齢者を見かけた場合は、積極的に声をかけるなど、高齢者が詐欺に遭わないよう注意を促してください。
　次に、高齢者と中学生が一緒に学ぶことができる「デジタル教室」の開催についてであります。
　議員ご提案の中学生がボランティアとして参加する多世代交流型のデジタル教室は、高齢者にとって身近な相談相手が増えるだけでなく、中学生にとってもＳＮＳ等の危険性について学ぶ機会となります。世代を超えて安全なデジタル活用を共に学ぶことは、特殊詐欺等被害の防止を図るうえで効果的な取組であると考えており、実施に向けて、警察や協力企業、学校等の関係機関と連携しながら検討してまいります。

　次に、市民のいろんな人が楽しめる施設をつくりたい！についてであります。

まず、門真市立かどま歴史ミュージアムにつきましては、初代門真市長であった中塚種夫氏にゆかりのある門真市立市民交流会館中塚荘を改修し、新たな歴史資料館として８月 18 日にオープンしました。

館内には、デジタル技術を用いた市の移り変わりなどを投影するプロジェクションマッピングや、より詳しい展示解説をスマートフォンなどで見ることができるＱＲコードの導入、盾持人埴輪の原寸大レプリカの展示、土器パズルや土器の模様つけ体験など、誰もが楽しみながら地域の歴史や文化を学んでいただける施設となっています。

また、多くの方にかどま歴史ミュージアムの魅力を知っていただくため、開館記念関連イベントとして、演芸などの多彩な演目を通じて、門真ならではの地域や文化の魅力を発信するイベントを 11 月に実施する予定であります。

今後におきましても、企画展や体験イベント、歴史講座の開催など、楽しみながら歴史に親しむことができる機会の充実を図ってまいります。

次に、門真市立文化創造図書館 KADOMADO についてであります。

KADOMADO は本を借りて読むだけの図書館ではなく、市民の文化・学習活動を推進する施設として、講座やワークショップを通じて様々なことを体験できる場所となっています。

具体に申し上げますと、読み聞かせ会や読書会など図書に関連したイベントのほか、３階テックラボでのデジタル機器を活用した最新の学びに触れる体験、10 歳までを対象とした４階クラフトラボでのものづくり体験、フラワーアレジメントや作品展、地元企業と連携した科学講座などを開催しております。

また、今後、子どもから大人までが一緒に楽しみ交流できるイベントをさらに増やしていくような考えはあるのかにつきましては、大学や地元企業と連携し、幅広い世代が自ら学ぶきっかけとなる講座等を増やし、学びの機会の充実に努めてまいりますので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

小阪　副議長



以上を持ちまして、水桜学園の質問を終了いたします。

以上で質問は、すべて終了いたしました。

皆さんのご協力に感謝いたします。

本日、この本会議場で、中学生議員として、宮本市長にご答弁いただくという貴重な体験をしました。

この経験を学校の取組で生かし、よりよい学校をつくっていき、その意識が街中にも広がっていけばと思います。全員でよりよい門真にしていきたいです。

これをもちまして、「令和８年度門真市中学生議会」を閉会いたします。

閉　　会

教育長挨拶



門真市教育委員会教育長の冨田でございます。

令和８年度門真市中学生議会の閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、「効果的な授業の在り方」や「部活動の地域展開」などの学校生活のみならず、「安全なまちづくり」や「美しいまちづくり」、さらには「公共施設の在り方」「動物愛護」など、皆さんが普段生活する中で感じた課題や疑問から、様々なご質問やご提案をいただきました。

まずは、真摯に議論に参加し、市政に対する率直なご意見やご提案を述べていただいた中学生議員の皆さんに、心から敬意を表します。ありがとうございました。

また、本事業の実施にご尽力いただいた学校関係者の皆様、傍聴してくださった保護者の皆様や、すべての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日の議会では、皆さんが地域や学校生活の中で感じている課題に対して、自らの言葉で問いを立て、多様な視点から調査・考察し、その解決に向けたご提案を行っていただきました。その姿は、まさに今日の学校教育で重視されている「課題解決的な学習」や「探究的な学び」の実践そのものでありました。

これからの社会は、正解のない課題に向き合い、自ら考え、多様な人々と対話し、よりよい解決策を求め続けていく力が求められています。皆さんが本日、市政という公共の課題について真剣に議論した経験は、教室での学びを社会へとつなげる貴重な機会となったことと思います。

選挙権年齢が 18 歳に引き下げられた現在、皆さんは近い将来、地域や国の未来を決定する大切な一票を担う主権者となります。民主主義は、一部の人によって支えられるものではなく、一人一人が社会に関心を持ち、自ら考え、意思を表明することによって成り立っています。本日の経験は、皆さんが将来、有権者として、さらには地域社会の担い手として主体的に参画していくための大切な第一歩になるものと確信しております。

まちづくりは、行政や議会だけで進めるものではありません。そこに暮らす市民一人一人の思いや行動によって形づくられていくものです。どうか皆さんには、これからも身近な課題に目を向け、「なぜなんだろう」「もっとよくできないだろうか」という探究する心を持ち続けていただきたいと思います。

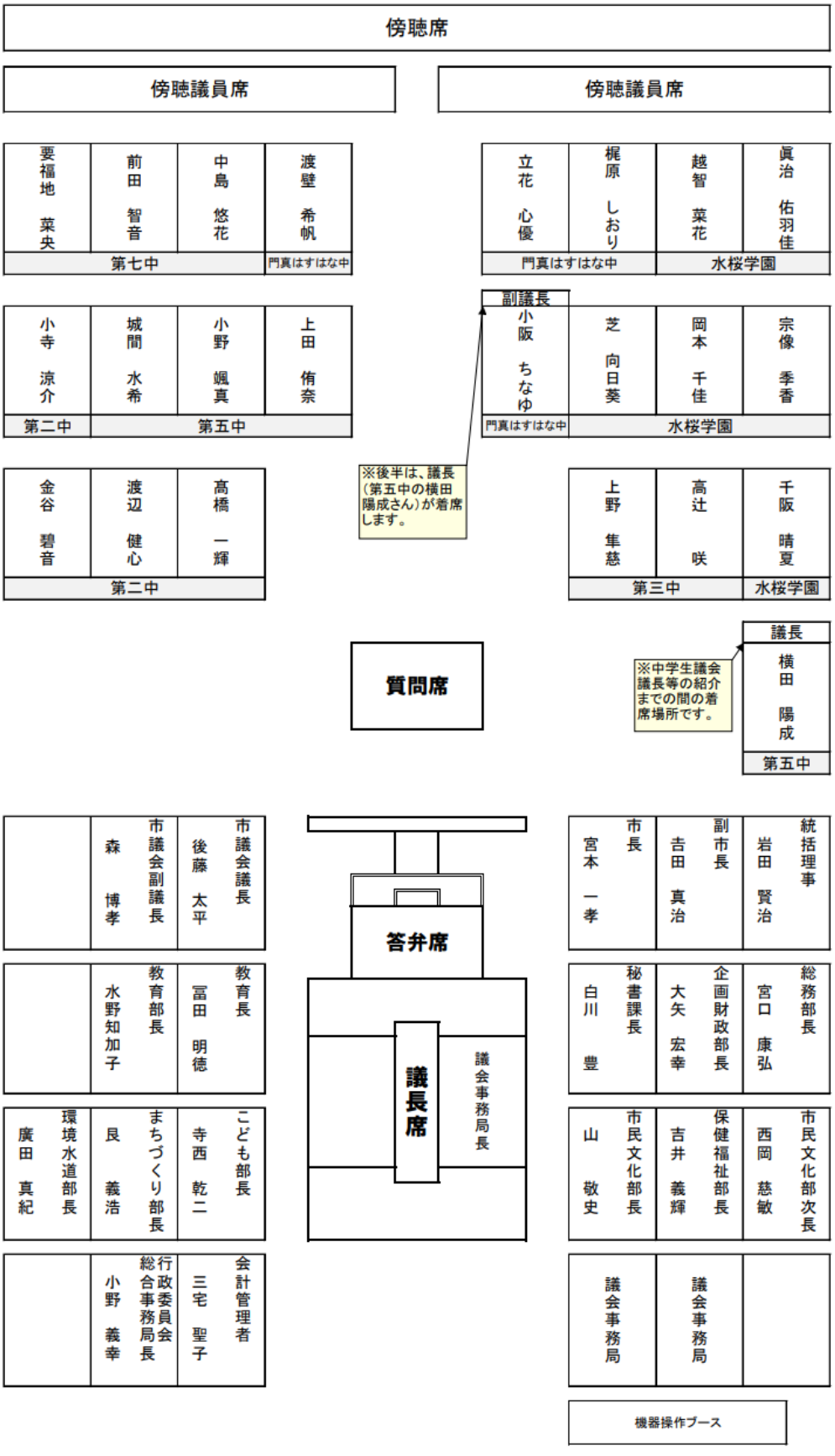
そして、学校での学びや本日の経験を生かし、未来の門真市、そして地域社会を支える存在として大きく成長されることを心から期待しております。

結びになりますが、本日、本議会に参加された中学生議員の皆さんにとって貴重な

機会となるとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたしまして、閉会の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。

令和8年度中学生議会　席列



写　真　集

集合写真



千阪 晴夏　芝 向日葵　眞治 佑羽佳　越智 菜花　岡本 千佳　宗像 季香　梶原 しおり　渡壁 希帆

小寺 涼介　高橋 一輝　渡辺 健心　金谷 碧音　小野 颯真　上野 隼慈　高辻 咲

前田 智音　中島 悠花　要福地 菜央　上田 侑奈　城間 水希　立花 心優

岩田 統括理事　吉田 副市長　宮本 市長　横田 陽成　小阪 ちなゆ　後藤 市議会議長　森 市議会副議長　冨田 教育長

議会風景









学 習 会













第二中学校



第三中学校



第五中学校



第七中学校



門真はすはな中学校



水 桜 学 園



中学生議会閉会後





令和８年度門真市中学生議会のあゆみ

〇学習会（第１回）　令和８年７月 23 日（木）午前９時 30 分～11 時 30 分
　　（第２回）　令和８年７月 30 日（木）午前９時 30 分～11 時 30 分
〇リハーサル　　令和８年８月 19 日（水）午前９時 30 分～11 時 30 分
〇中学生議会当日　令和８年８月 22 日（土）午前 10 時～正午